

# 十和田市 社協だより

平成30年8月発行 第115号

目次	
・平成29年度事業報告	2
・平成29年度決算報告	3
・開催事業の紹介	4、5
・お知らせ	5
・まちかど情報局・善意の窓	6



車イスでは、わずかな段差を超えるのも一苦労！

## 思いやりの気持ちを再確認！



なかなか考えたこともない世界。多くの気づきがありました。

6月21日、市民交流プラザで、「市民福祉体験学習」を開催しました。この体験学習は、初めて一般市民を対象とし、「ボランティア活動の基礎」や「障がいなどの疑似体験」により、普段とは違う不自由、不便を体感し、これからの日常生活で、思いやりの実践行動につなげるよう実施したものです。

今回は、14人の参加者が、いつもの慣れ親しんだ街に、いつもとは違う装いを着けて出かけました。商店街の歩道・信号・すれ違う歩行者にも不便を感じ、買い物も思うようにできないもどかしさを感じたようでした。

社会福祉協議会では、私たちの街で、誰かが感じている不便や不自由を、みんなの思いやりの行動で補う福祉づくりを推進していきます。

# 平成29年度 決算報告

## 資金収支計算書

(単位：円)

収	入	支	出
会費収入	5,637,707	人件費支出	59,639,883
寄附金収入	488,370	事業費支出	16,969,777
事業収入	1,590,500	事務費支出	7,191,938
経常経費補助金収入	48,906,000	貸付事業支出	784,000
助成金収入	364,000	共同募金分譲支出	60,000
受託金収入	13,312,480	経常経費補助金支出	1,721,353
貸付事業収入	824,550	助成金支出	2,049,600
共同募金配分金収入	7,020,000	負担金支出	279,097
負担金収入	7,901,050	固定資産取得支出	4,822,707
受取利息配当金収入	1,086,074	基金積立資産支出	1,510,624
その他の収入	43,187	積立資産支出	1,002,994
車輛運搬具売却収入	21,998	サービス区分繰入金支出	3,280,000
基金積立資産取崩収入	2,760,000	予備費	0
積立資産取崩収入	11,536,093	期末支払資金残高	38,629,960
サービス区分繰入金収入	3,280,000		
期首支払資金残高	33,169,924		
合計	137,941,933	合計	137,941,933

## 貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	45,550,540	流動負債	6,920,580
預貯金	45,358,118	事業未払金	1,738,327
事業未収金	191,000	その他の未払金	4,708,870
その他の未収金	1,422	預り金	473,383
固定資産	179,981,263	固定負債	19,374,431
基本財産	3,300,000	退職給付引当金	19,374,431
基本財産特定預金	3,300,000	負債の部合計	26,295,011
その他の固定資産	176,681,263	純資産の部	
車輛運搬具	4,329,083	基本金	3,300,000
器具及び備品	124,379	基金	146,733,970
投資有価証券	100,362,100	福祉基金	146,733,970
福祉基金積立資産	46,371,870	国庫補助金等特別積立金	0
たすけあい資金貸付金	2,449,400	その他の積立金	3,670,000
退職給付引当資産	19,374,431	備品等購入積立金	3,670,000
備品等購入積立資産	3,670,000	次期繰越活動増減差額	45,532,822
		次期繰越活動増減差額	45,532,822
		(うち当期活動増減差額)	(5,751,003)
		純資産の部合計	199,236,792
資産の部合計	225,531,803	負債及び純資産の部合計	225,531,803

## 役員紹介

社協理事任期 平成29年6月2日～平成31年6月  
 社協監事任期 平成29年6月2日～平成31年6月  
 社協評議員任期 平成29年4月1日～平成33年6月

会長 江渡 恵美 (地域の福祉関係者)	理事 古川 あき (地域の福祉関係者)
副会長 小川 洋平 (地域の福祉関係者)	理事 国分 隆子 (地域の福祉関係者)
副会長 升澤 博也 就任 平成30年6月7日 (地域の福祉関係者)	理事 吉田 壮一 (その他)
副会長 太田 代志郎 (地域の福祉関係者)	理事 竹達 幸雄 (その他)
常務理事 佐々木 令子 (地域の福祉関係者)	理事 日野 敬章 (地域の福祉関係者)
理事 立崎 享一 (その他)	理事 大竹 正美 (地域の代表者)
理事 野月 一博 (その他)	監事 高野 洋三 (士)
理事 中野 渡 勇治 (地域の福祉関係者)	監事 櫻田 努 (その他)
理事 古籠 寛 (その他)	監事 佐藤 弘人 (他)

評議員 立崎 弘 (その他)	評議員 山本 孝司 (地域の福祉関係者)
評議員 織川 貴司 (地域の代表者)	評議員 宮本 範道 (地域の福祉関係者)
評議員 角田 ヨシ子 (地域の代表者)	評議員 中野 渡 福美 (地域の福祉関係者)
評議員 木津 寛 (その他)	評議員 野月 誠 (その他)
評議員 赤石 政義 (地域の代表者)	評議員 櫻田 一雅 (地域の福祉関係者)
評議員 石田 美津子 (地域の福祉関係者)	評議員 佐賀 康夫 (地域の代表者)
評議員 張 摩 博子 (地域の福祉関係者)	評議員 山田 誠一 (地域の福祉関係者)
評議員 佐々木 一吉 (地域の福祉関係者)	評議員 小笠原 豊重 (地域の福祉関係者)
評議員 荒井 容子 (地域の福祉関係者)	評議員 坂本 秀美 (地域の福祉関係者)
評議員 角濱 京子 (地域の福祉関係者)	評議員 漆畑 貴美男 (地域の福祉関係者)
評議員 岩田 秀子 (地域の福祉関係者)	評議員 小林 千恵 (地域の福祉関係者)

## 十和田市社会福祉協議会会長あいさつ



市民の皆様には、常日頃より社会福祉協議会の運営並びに各種事業の実施にあたり、格別のご理解とご支援をいただいておりますことを厚く感謝申し上げます。

お陰様を持ちまして、平成29年度計画した各種の事業につきまして、円滑な実施となりましたことをご報告させていただきます。

平成30年度は、地域にある多様な生活課題、福祉課題の改善解決を目的に「生活支援体制整備事業」及び発達障害の理解を促し地域の見守り体制整備を目的に「発達障害理解の講演会事業」を新たに展開いたします。

本協議会は、これからは地域の絆を基盤とした地域づくりこそ役割と考え、市民の皆様の期待に応えるよう“住民が支え合い、誰もがその人らしく健やかで安心して暮らせるとわだ”を目指し、一層努力してまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成30年8月1日 社会福祉協議会 十和田市社会福祉協議会 会長 江渡 恵美

評議員 杉本 喜和子 (地域の福祉関係者)	評議員 橋場 妙子 (地域の福祉関係者)
評議員 白山 廣美 (地域の福祉関係者)	評議員 森平 直樹 (地域の福祉関係者)
評議員 下川 原 和男 (地域の福祉関係者)	評議員 中河 原 めぐみ (地域の福祉関係者)
評議員 金村 金作 (地域の福祉関係者)	評議員 小関 幸一 (地域の福祉関係者)
評議員 鈴木 鉄男 (地域の福祉関係者)	評議員 織川 徳子 (地域の福祉関係者)
評議員 後藤 智保 (地域の福祉関係者)	評議員 小野 節子 (地域の福祉関係者)
評議員 和田 原 (地域の福祉関係者)	評議員 長畑 清二 (地域の福祉関係者)
評議員 外山 忠男 (地域の福祉関係者)	評議員 北館 祐子 (社会福祉事業の学識経験者)
評議員 目時 孝子 (地域の福祉関係者)	

# 平成29年度 事業報告

## 会務の運営

- ◆ 理事会 7回
- ◆ 評議員会 4回
- ◆ 監査会 3回

## 環境づくりの推進 ～誰もが安心して福祉サービスを利用できる環境づくり～

- ①ふれあい相談所事業
  - ・開設日数243日 相談件数38件
- ②広報・啓発事業
  - ・社協だよりの発行 4回
  - ・ホームページによる情報提供
- ③生活福祉資金貸付事業
  - ・貸付件数 5件
- ④たすけあい資金貸付事業
  - ・貸付件数 56件
- ⑤福祉安心電話サービス事業
  - ・3月末設置数 46世帯
  - ◇ふれあい電話サービスの実施
    - ・778回
  - ◇緊急通報システム着信状況
    - ・緊急・停電・相談等件数 計23件
- ⑥日常生活用具貸出事業
  - ・介護用ベッド貸出24台
  - ・シルバーカー貸出2台
  - ・車イス貸出13台
- ⑦給食サービス事業
  - ・稼働300日 食数13,262食
- ⑧日常生活自立支援事業(愛称:あつるハートとわだ)
  - ・利用者数(3月末) 122人
- ⑨成年後見事業(法人後見の受任)
  - ・受任者数(3月末) 7人
- ⑩福祉サービス苦情解決第三者委員設置事業
  - ・苦情解決窓口の設置
  - ・第三者委員の設置
- ⑪フードバンクシステム構築事業
  - ・支援件数 31件



## 地域づくりの推進 ～共に支え合う地域づくり～

- ①一人暮らし高齢者ふれあい事業の推進
  - ・参加者461人
- ②夏休み子ども寺子屋事業
  - ・7月24日～26日
  - ・7月31日～8月2日
  - ・8月7日～9日
  - 全9日間
  - ◇東小学区 東ふれあい会館
    - ・参加者 延べ277人
    - (児童194人、ボランティア83人)
  - ◇南小学区 東小稲会館
    - ・参加者 延べ336人
    - (児童263人、ボランティア73人)
- ③高齢者健康体力維持支援事業
  - ・スポーツ交流会 参加者 延べ763人
- ④ふれあいいきいきサロン事業
  - ・指定地区 24地区 参加者 延べ5,762人
- ⑤地域福祉ほのぼの交流事業
  - ・ほのぼの交流協力員配置 協力員24人
  - ・ほのぼの交流協力員研修会 出席者8人
- ⑥ゆめ色フェスティバル事業
  - ・参加者 約460人
- ⑦手話を学ぶ機会の提供事業
  - ・手話講習会の開催 受講者数 延べ87人
  - ・手話奉仕員養成講座の開催 受講者数 延べ208人
- ⑧十和田市社会福祉大会事業
  - ・第13回十和田市社会福祉大会の開催 参加者 約600人
- ⑨あんしんネットワーク構成員の集い事業
  - ・参加者 67人



## 人づくりの推進 ～地域で福祉を支える人づくり～

- ①福祉教育推進事業
  - ・福祉体験学習 学校28回訪問
  - ・福祉教育インストラクター 延べ207人派遣
- ②ほんわかハート展事業
  - ・作品応募総数624点
- ③中学生ボランティアスクール事業
  - ・参加者36人
- ④中高生福祉サミット事業
  - ・参加者16人
- ⑤福祉教育インストラクター養成研修事業
  - ・参加者12人
- ⑥お話しボランティア派遣事業
  - ・派遣177回
- ⑦ボランティア・市民活動事業
  - ◇ボランティアセンターの運営
    - ・ボランティア活動保険 加入者998人
    - ・ボランティア行事用保険 加入39件(1,900人)
    - ・ボランティア保険加入者助成 助成人数664人
    - ・ボランティア活動に関する登録斡旋と連絡調整 登録3,747人
    - ・災害救援ボランティアの体制整備
    - ・ボランティア団体育成のための助成事業 助成13団体・グループ
- ⑧介護支援ボランティア事業
  - ・説明・研修会 参加者37人



## 協力・連携・協働の強化

- ①民生委員・児童委員活動との連携協働
- ②地域包括支援センターとの連携協働
- ③関係行政との連携協働

## 福祉サービス利用者等の個人情報の保護

- ①個人情報の有用性に配慮し、慎重かつ厳格な取り扱い

## 組織基盤の強化

- ①機能的・効果的な事務執行体制の整備
- ②財務規律の厳格化
- ③経費縮減、自主財源確保

## 歳末たすけあい運動の実施

- ①就学支援となるよう図書券の配布



# 手話奉仕員養成講座 手話講習会開催中

社会福祉協議会では、聴覚障害者の方の生活や関連する福祉制度などについて、理解や認識を深めるとともに、手話で日常生活の会話ができるように手話奉仕員の養成をすることを目的に、6月から11月までの21回、毎週水曜日の夜に手話奉仕員養成講座を行っています。

また、障害者福祉の更なる理解と発展充実、手話を学ぶ機会を提供することを目的に、簡単な日常会話を学ぶ手話講習会を、5月から9月までの昼に、全10回実施しています。

参加者からは、「手話を話せるようになり、コミュニケーションをとりたい。」「たくさん学び多くの方に広がってほしい。」「昨年も受けましたが、忘れないよう確認も含め受講したい。」「可能な限り出席し、修了証書をいただけるように頑張りたい。」「などの前向きな意見がありました。

手話は聴覚に障がいのある方にとって、とても大切な言語です。



手話講習会（昼）



手話奉仕員養成講座（夜）

どちらの講座・講習も途中参加が可能ですので、この機会に雰囲気を感じながら学んでみませんか。

手話で伝えるためには、表情も大切なことも学びました。

## 生活支援体制整備事業

生活支援体制整備事業は、平成30年度から市委託を受けて、実施しています。事業では、地域住民やボランティア、企業や多様な関係団体等で高齢者の生活課題、福祉課題の改善に向けて話し合う協議体を設置します。協議体では、買い物や移動、見守りなど、地域に不足している資源の開発や、市民を対象とした地域づくりフォーラムの開催、高齢者向けの生活支援情報誌の作成を行います。

6月18日には、第1回推進会議を開催し、委員25人に委嘱状を交付しました。

これから高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるために、地域全体で支え合える仕組みづくりを推進していきます。



推進会議では民生委員児童委員協議会の太田代志郎会長が委員長となり、会議を取りまとめます。

## 福祉体験学習実施中

社会福祉協議会では、全ての人々が尊ばれ、社会全体の中で支え合い共に生きる力を育むことを目的に、福祉教育・福祉体験学習を実施しています。

福祉体験学習では、学校や地域、企業などへ出向き、車イス利用者や視覚障がい者への介助方法や講話、高齢者疑似体験などを社会福祉協議会の養成研修を修了した、市民ボランティア（福祉教育インストラクター）と一緒に分かりやすく指導しており、今年も6月から実施しています。



学校や地域で福祉教育インストラクターが活躍しています。

## 開催事業の紹介

### 災害ボランティアセンター設置訓練実施

5月30日、十和田市総合防災訓練が高清水小学校を主な会場として開催されました。その一環として、社会福祉協議会では、災害支援活動を希望するボランティア活動者受入れのための「災害ボランティアセンター」設置訓練を行いました。

このセンターは、大規模な災害が発生した際に、社会福祉協議会と市が協働し設置するもので、被災者生活の早期安定を図るよう、ボランティア活動者を迅速・円滑に活動へ向けて派遣する役割を担います。

当日の訓練は、市民ボランティアと民生児童委員など17人の参加協力を受け、活動者の受付・支援ニーズの聞き取り・支援活動者の派遣・調整について、役割を分担し体験してもらいました。

参加者は、「日本は災害も多く、いつ大規模災害が起こるかわからないので、日頃の備えや訓練が重要だと思います。」「災害時にボランティアセンターが果たす役割



災害ボランティアセンター設置訓練の様子。

割を理解できませんでした。」「災害は起こって欲しくありませんが、大規模災害時には、今回の訓練の経験を大切に懸命に協力したい。」「と真剣な表情で話していました。

災害対策は、訓練参加のみならず、日頃の各自の「備え」という意識姿勢が重要です。また、困っている人の役に立ちたいという尊い気持ち、思いやりのボランティア活動が全国にどんどん広がっています。

## お知らせ

### 福祉の作品「ハート展」 ほんわかハート展

毎年夏休みの時期を利用して、市内小・中・高校生を対象に「ほんわかハート展」の作品を募集しています。作品の対象部門は「作文・ポエム・絵画・写真・書道」の5部門です。

最優秀作品は、十和田市社会福祉大会（10月24日開催）の席上で表彰します。

皆さんの「優しい気持ち」、「思いやりの気持ち」を表現し応募してください。

応募者全員には記念品を差し上げます。

応募方法などの詳細は、学校を通じた案内や社会福祉協議会のホームページをご覧ください。



### 参加者募集 十和田いきいき介護 ボランティアポイント事業

60歳以上の市民の方が、介護施設でボランティア活動をすることで、自身の介護予防と互いに支え合い、いきいきとした地域社会になることを目的に、「十和田いきいき介護ボランティアポイント事業」を実施しています。

事前に登録している市内の介護施設（26カ所）でボランティア活動を行うと「ボランティアポイント」がもらえます。ボランティア手帳に活動を記録し、ポイントを貯めることで、市の特産品と交換できます。

活動実施にあたっては、社会福祉協議会が実施する研修会を受講（1回のみ）し、事前にボランティアの登録が必要です。

8月以降はこの研修会を6回実施しますので、関心のある方は、ぜひ参加してください。

- 8月28日（火） 10時～11時50分
- 南コミュニティセンター
- 9月28日（金） 10時～11時50分
- 東コミュニティセンター
- 他4回

#### 【申込先】

十和田市社会福祉協議会  
23-1-2992



# まちかど情報局

このコーナーは、市民の皆様には様々な分野の情報を知っていただくコーナーです。十和田消防署より安全確保に関する情報を全6回でお知らせします。

5回目は『消防団』について紹介します。



## 知っていますか『消防団』

～私たちのまちを守る消防団～



### 消防団とは？ 消防団の活動は？

消防団は市町村の消防機関の一つです。消防団員は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という使命感のもと各々が本業を持ちながら、地域住民の安全と安心のため、火災、事故あるいは自然災害などが発生した際に消防活動を実施する非常勤の特別職地方公務員です。



消防団の活動内容は、火災時の消火活動や救助活動をはじめ、防災活動や避難誘導のほか、平常時における防火パトロールや消防訓練、お祭りや催し物の際の警備、防火啓発や防火指導など、その活動は多岐にわたり、地元防災の主役として欠かすことのできない存在です。

4月1日現在、市内には地域ごとに47カ所の消防団屯所があり、707人（内、女性は18人）の消防団員が活躍しています。平成29年度の消防団の出動状況等は、火災・警戒・訓練等を合計すると47回、延べ1,268人の消防団員が活動を行っています。



### 消防団員を募集しています!!

～育てよう 未来をつくる 若い力～

#### 【応募資格】

- ・市内に居住または勤務する方
- ・年齢18歳以上の方
- ・郷土愛にあふれる方

#### 【お問い合わせ】

十和田地域広域事務組合消防本部  
警防課 消防団係 ☎ 58-0130



### 熱中症は予防が大切



暑いときに「手足のしびれ」「めまい」「立ちくらみ」が起こったら、それは熱中症かもしれません。熱中症予防の重要なポイントは「こまめな水分補給」「暑さを避ける」「暑さに備えた体力づくり」の3つです。熱中症を予防し、暑い夏を上手に乗り切りましょう。

### 善意の窓

平成30年4月1日～

6月30日受付分

※社会福祉協議会への寄附は税制上の優遇措置が認められています。

#### 【福祉基金】

- ・ 医 名 ..... 20,000円
- ・ 医 名 ..... 10,000円
- ・ 医 名 ..... 2,000円
- ・ 医 名 ..... 2,000円

#### 【物品寄附】

- ・ 岡 本 保 夫 様 ..... バルスオキシメータ1個



十和田市社協だより 平成30年8月発行 第115号

編集・発行 社会福祉法人 十和田市社会福祉協議会

社会福祉協議会のホームページでも「社協だより」をご覧ください。市民の皆様からの「社協だより」に関するご意見・ご感想をぜひお寄せください。

〒034-0011 青森県十和田市稲生町18-33 市民交流プラザ内

✉ E-mail: welfare@towada-shakyo.or.jp

ホームページ: http://towada-shakyo.or.jp

十和田市社協 検索



この広報は、赤い羽根共同募金の配分金で作成しました